

主催：日本高齢期運動連絡会・東京都老後保障推進協会 高齢者の要求実現めざす 年末座り込み行動

ニュース

第2号 2016年12月14日(水)：共同デスク

厚労省前座り込み行動スタート！

14日12時から厚労省前での高齢者座り込みが始まりました。この座り込みは日本高齢期運動連絡会（日本高連）と東京都老後保障推進協会（都老協）が共催して3日間48時間連続で行う泊まり込みの行動です。

開始式では、藤谷日本高齢期運動連絡会事務局長が、「年金の改悪はもちろん、医療、福祉の全てで高齢者の負担増が予算化されようとしている。ギリギリで生活している高齢者の実態を訴えましょう」と挨拶しました。



参加者から一言（座り込みノートより）

- 私は、87歳です。今年も泊まり込みで参加します。今年が国会最終日に重なり、緊張感があります。
- 午前中雨で心配しましたが、午後は天気も良くなり一安心です。忙しい中、国会議員の人も来てくれて勇気が湧きました。
- 夕方から急に寒くなってきた。しかし、今頑張らないと禍根を残す！
- 物価が上がっても年金が下がる法案が出されている。年金で暮らしている人は、死ぬということか！若い人はもっと大変になる。このことを訴えたくてここに来た。
- 寒い中ご苦労様です。私もみなさんと気持ち一緒です。頑張ってください。
- 国会でも野党は、深夜まで頑張っている。私たちもここに泊まり込んで見守りたい。

本日の参加者 23名！



座り込み行動を国会議員が激励！

14日から3日間の予定で恒例となった高齢者による年末座り込みに、最終盤の忙しい日程の中、国会議員のみなさんの激励がありました。

高橋千鶴子衆議院議員は、「年金カット法案が今日採決されようとしています。みなさんと一緒に最後までこの法案に反対します。」と決意表明。堀内照文衆議院議員は、「高齢者が座り込みをせざるをえないような政治を早く転換させよう。」と訴えました。畑野良枝衆議院議員は、「住宅の老朽化で困っていた高齢者の実態を訴えたらURが検討することになった。諦めず頑張って政治を変えていきましょう」と述べました。



オープニングに参加いただいた国会議員の方々です。

(敬称略)

- 高橋 千鶴子
- 畑野 君枝
- 堀内 照文

